

実践記録

学校/学年	小学校／6年	
教科等：単元名	総合的な学習の時間：「インターネット情報の調べ方」	
キーワード	情報 インターネット	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	e2 情報を正しく安全に利用することに努める。
	中目標項目番号 中目標項目内容	e2-1 :情報には誤ったものもあることにきづく
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	インターネット上には間違った情報や古い情報があることを理解し、別の資料で確認したり、実際に足を運んで調べたりする大切さを知る。	
使用教材	教材名	事例で学ぶNet モラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNet モラル」

○展開案

	学習活動	指導 評価◎
導 入	1 わからないことを調べるときには、どんな方法があるか話し合う。 2 映像クリップをみる。	・今までの調べ学習を想起させる。 ・学習課題「インターネットでどのように調べたら良いか。」をつくる。
展 開	3 調べたことがどうして間違っていたのかをワークシートに記入し発表する。 4 どうすればよかったのかについてワークシートに記入後、話し合う。	・映像クリップを視聴後、キーシーンを提示し、話の流れを振り返らせる。 ・自分のインターネットでの調べ方と重ね合わせながら考えさせる。
お わ り	5 まとめの映像クリップを視聴し、振り返りをしまとめる。 6 正しい情報収集「情報収集の基本を知ろう。」のショート教材で確認。	◎インターネットには間違った情報や古い情報が書き込まれていることがあること、本や他の資料で調べたり、実際に調査することの大切さを再確認し、具体的な自分の調べ方に活かしていこうと考えられたか。

○授業の成果

- ・スペイン大使館の方々との交流会の事前学習の機会に、改めてインターネット情報の吟味をすることができ、以前より正しい情報を得ることにつながった。

○指導のポイント・留意点

- ・今までの自分の調べ方を想起させながら、学習することが大事である。
- ・学習後、実際に調べる学習を設定するとよい。